

氷取沢防災まちづくりの会 「活動計画書」

§1_目的

「氷取沢防災まちづくりの会」は、民主主義の精神に基づき会員相互に協力し、「防災まちづくりプラン」を基に首都直下地震等の大地震及び記録的豪雨・台風等の自然災害に対して、地域の課題に備え、4自治町内会が連携しながら創意工夫し、地域のコミュニティ・防災・減災力の向上に努め安全で快適な魅了ある地域主体の災害に強いまちづくりを継続的に推進する事を目的とする。

§2_5項目の取組

4自治町内会の連携防災まちづくり拠点設置を最重要取組とする。

1_4自治町内会の連携防災まちづくり拠点(以下、防災まちづくり拠点と略称)設置の取組

2_町内の避難所確保に向けた取組

3_大災害時のごみ・トイレ問題に備えた取組

4_大災害時の医療対策に対する取組

5_氷取沢町ハザードマップ作成に対する取組

§3_活動計画

1_防災まちづくり拠点設置の取組		
'22年度	①防災まちづくり拠点設置概要及び必要な人材等の募集要綱による会員募集 ②(仮名)防災まちづくり拠点検討チーム(以下、検討チームと略称)による設置候補場所の検討 ③検討チームによる防災まちづくり拠点の構想見直し ④検討チームによる備蓄資機材リスト見直し	・会員募集ポスター及び会報発行 ・減災を学ぼう会開催
'23年度	①防災まちづくり拠点設置場所の比較検討 ②他の検討チームからの備蓄資機材類の取り纏め ③備蓄資機材類の見積、購入優先順位及び資金検討 ④防災まちづくり拠点構想の更新	・会報発行 ・減災を学ぼう会開催
'24年度以降	①防災まちづくり拠点構想・備蓄機材の住民意見反映 ②防災まちづくり拠点設置に係わる用地調整・協議 ③防災まちづくり拠点設置費用の詳細見積 ④防災まちづくり拠点の設置申請～設置～実績報告 ⑤備蓄資機材類の購入計画書の作成及び整備 ⑥備蓄資機材類を活用した防災訓練 ⑦備蓄資機材類のメンテナンス計画等の整備 ⑧平常時の防災まちづくり拠点利活用の公募	・会報及びアンケート発行 ・減災を学ぼう会及び防災訓練開催
2_町内の避難所確保に向けた取組		
'22年度	①大災害時に於ける町内福祉施設への応援チーム人材等の募集要綱による会員募集 ②施設応援チームの結成及びチームによる計画見直し ③市と協定を結んでいない町内福祉施設との協力体制を含む細則検討 ④各自治町内会毎に「要援護者名簿(本人同意)」の作成(定期的に更新)	・会員募集ポスターの発行 ・町内福祉施設での応援チームの研修 ・町内福祉施設との協議の開催

'23年度	<p>①大災害時に地域防災拠点に届く情報・物資の運搬協力体制等の細則検討</p> <p>②町内福祉施設が開催する防災訓練等のイベントへの参画等による施設との交流推進</p> <p>③大型店舗等の駐車場での避難場所検討</p>	<p>・町内福祉施設での応援チームの研修</p> <p>・町内福祉施設との定期的協議</p>
'24年度以降	<p>①町内福祉施設との交流</p> <p>②大型駐車場を保有する会社と大災害時におけるいつとき避難場所としての運用に向けた協議</p> <p>③大型駐車場を保有する会社と大災害時の避難場所に関する協定書の締結</p> <p>④大災害直後に家屋が倒壊し、地域防災拠点に行けない年老いた方々の一時避難所の確保</p>	<p>・町内福祉施設での応援部隊への研修</p> <p>・町内福祉施設との定期的協議</p> <p>③及び④は長期取組とする。</p>
3_大災害時のごみ・トイレ問題に備えた取組		
'22年度	<p>①ごみ・トイレ問題募集要綱を基にした会員募集</p> <p>②各自治町内会毎に生活ごみと災害ごみの長期保管場所の検討</p> <p>③長期保管場所での鳥・衛生・飛散対策と必要な資機材のリストアップ</p> <p>④磯子台3団地は震度5強以上の地震後の排水管点検方法の調査</p> <p>⑤戸建世帯への大震災後の排水管点検要領の配布</p>	<p>・会員募集ポスターの発行</p> <p>・戸建住民への生活排水配管点検要領書の配布</p>
'23年度	<p>①各自治町内毎に長期保管場所を記載した地図の全戸配布と意見聴取等のアンケート</p> <p>②ごみ・トイレ問題に必要な備蓄資機材リストの全戸配布と意見聴取等のアンケート</p> <p>③回収した長期保管場所及び備蓄資機材リストの意見書の分析と住民意見の反映</p> <p>④磯子台3団地の管理組合との大震災後の生活排水の排出可否判定方法についての協議及び協議結果の取り纏め</p>	<p>・アンケート配布と意見書の回収</p> <p>・住民意見を反映したアンケート結果の報告</p> <p>・磯子台3団地住民への報告書作成・全戸配布</p>
'24年度以降	<p>①住民意見を反映したごみ長期保管場所及び備蓄機材リストを全戸配布するとともに長期保管場所は氷取沢町防災ハザードマップに明記</p> <p>②磯子台3団地住民に大災害後の生活排水の排出可否判定方法及び周知の取り纏め</p> <p>③大災害時の生活ごみ及び災害ごみの長期保管する際のルール等の構築</p> <p>④大災害時のごみ・トイレ問題の周知方法の検討及び訓練等</p>	<p>・住民説明会の開催</p> <p>災害ごみの長期保管場所は長期取組とする。</p>

4_大災害時の医療対策に対する取組		
'22年度	①応急手当チームを編成する為、医師・看護師及び地域防災拠点での防災訓練(応急手当)講師経験者からの募集 ②応急手当チームによるワークショップにて応急手当チームへの会員募集 ③応急手当に必要な資機材のリストアップ	・会員募集ポスターの発行 ・町内診療所による応急手当部隊の研修 ・応急手当ワークショップの開催
'23年度	①リストアップした応急手当備蓄機材についての町内診療所からの助言受講 ②地域防災拠点へのルートが土砂災害等にて、通行不可になった際に備えた町内の重機保有会社との連携 ③笹下釜利谷道路が通行不可になった際に備えて、能見台方面への道路の安全性を主体とした調査・検討	・町内診療所による応急手当部隊の研修 ・応急手当ワークショップの開催
'24年度以降	①応急手当備蓄機材の整備 ②町内復旧協議会の構築 ③重症者等を災害拠点病院等に搬送する安全ルートの検討結果を氷取沢町ハザードマップへの記載	・応急手当に係わる研修・ワークショップ ③は長期取組とする。
5_氷取沢町ハザードマップ作成に対する取組		
'22年度以降	①氷取沢町ハザードマップ(参考図)の活動対象区域図及び浸水の恐れがある区域等行政発行最新図への更新 ②中等傷者及び重症者を車で災害時救急病院及び災害拠点病院に搬送する道路調査結果の記載 ③軽症者の応急手当が可能な場所の記載 ④防災まちづくり拠点の場所の記載 ⑤通行危険箇所及び不能が予想される道路の記載 ⑥その他、防災・減災情報に係わる情報の追記 ⑦継続的にバージョンアップを行い、全戸配布するとともに防災まちづくり拠点に拡大版を保管	①'22年度中に氷取沢町ハザードマップ発行 ②減災を学ぼう会にてハザードマップに記載事項を住民から聴取